

DRUG



INFORMATION

2010 No. 32

平成22年12月16日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について1
—平成22年12月2日 薬事委員会結果報告—
2. 新規登録医薬品情報3
—採用医薬品(新規試用医薬品)—3
—製剤変更医薬品—8

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

医薬品の採用・中止・変更について —平成 22 年 12 月 2 日 薬事委員会結果報告—

採用医薬品（新規試用医薬品）

医薬品名（成分名）	薬品分類
アサコール錠 400mg（メサラジン）	潰瘍性大腸炎治療剤
イーケプラ錠 500mg（レベチラセタム）	抗てんかん剤
コートリル錠 10mg（ヒドロコルチゾン）	副腎皮質ホルモン剤
ランサップ 400（ランソプラゾール、アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン）	ヘリコバクター・ピロリ除菌剤
イナビル吸入粉末剤 20mg（ラニナミビルオクタン酸エステル水和物）	長時間作用型ノイラミニダーゼ阻害剤
デュオトラバ配合点眼液（トラボプロスト、チモロールマレイン酸塩）	緑内障・高眼圧症治療配合剤
イオプロミド 300 注シリンジ 100mL「FRI」（イオプロミド）	非イオン性尿路・血管造影剤
イオメロン 350 注シリンジ 135mL（イオメプロール）	非イオン性造影剤
エボジン皮下注シリンジ 24000（エボエチンベータ）	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤
ネスブ注射液 120μg/0.6mL プラシリンジ（ダルベポエチンアルファ）	持続型赤血球造血刺激因子製剤
サリンヘス輸液 6% 500mL	代用血漿・体外循環希釈剤
フェリコン鉄静注液 50mg（シデフェロン）	鉄欠乏性貧血治療剤
フォルテオ皮下注キット 600μg（テリパラチド）	骨粗鬆症治療剤
ラピアクタ点滴用バイアル 150mg（ペラミビル水和物）	抗インフルエンザウイルス剤

平成 22 年 12 月 21 日より処方開始予定です。

採用中止医薬品

医薬品名（成分名）	薬品分類
MS コンチン錠 10mg（モルヒネ硫酸塩水和物）	持続性癌疼痛治療剤
MS コンチン錠 30mg（モルヒネ硫酸塩水和物）	持続性癌疼痛治療剤
コートン錠（コルチゾン酢酸エステル）	副腎皮質ホルモン製剤
ランデル錠 20mg（エホニジピン塩酸塩エタノール付加物）	持続性Ca拮抗剤
ロドピン錠 25mg（ゾテピン）	統合失調症治療剤
インタール点眼液 2% 5mL（クロモグリク酸ナトリウム）	アレルギー性結膜炎治療剤
ノイアップ注 100μg（ナルトグラスチム）	遺伝子組換えヒト G-CSF 誘導体制剤
フェジン静注 40mg（含糖酸化鉄）	静脈内注射液・鉄剤
ブリプラチン注 10mg（シスプラチン）	抗悪性腫瘍剤
ブリプラチン注 25mg（シスプラチン）	抗悪性腫瘍剤
ブリプラチン注 50mg（シスプラチン）	抗悪性腫瘍剤
プロハンス静注 20mL（ガドテリドール）	非イオン性 MRI 用造影剤
ヘスパンダー輸液 500mL	代用血漿・体外循環希釈剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名〈旧製剤 ⇒ 新製剤〉	薬品分類
アズマネックスツイストヘラー100μg60 吸入 ⇒ アズマネックスツイストヘラー200μg60 吸入	吸入ステロイド喘息治療剤
生食注シリンジ「SN」10mL ⇒ 生食注シリンジ「オーツカ」10mL	生理食塩液

旧製剤の在庫がなくなり次第、製剤変更とします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アロテック錠 10mg (オルシブレナリン硫酸塩)	喘息治療・気管支拡張剤
シナロング錠 10mg (シルニジピン)	持続性 Ca 拮抗降圧剤
ベータプレシン 10mg 錠 (ペンブトロール硫酸塩)	高血圧治療剤

すべて院外専用品目のため、流通在庫がなくなり次第もしくは平成 23 年 3 月 31 日付で処方中止とします。

【採用医薬品(新規試用医薬品)】

*メサラジン Mesalazine

【商】アサコール Asacol 協和発酵キリン
内用：錠剤 1錠中 400mg [86.5 円/錠]

【効】潰瘍性大腸炎(重症を除く)

【用】1日 2,400mg を3回に分けて食後投与するが、活動期には、1日 3,600mg を3回に分けて食後投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、サリチル酸塩類に対し過敏症の既往歴のある患者、重篤な腎障害のある患者、重篤な肝障害のある患者

【副】骨髄抑制、再生不良性貧血、汎血球減少症、無顆粒球症、白血球減少症、好中球減少症、血小板減少症、心筋炎、心膜炎、間質性肺炎、好酸球性肺炎、膵炎、間質性腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、肝炎

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*レベチラセタム Levetiracetam

【商】イーケプラ E Keppra 大塚製薬
内用：錠剤 1錠中 500mg [230.8 円/錠]

【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法

【用】1日 1,000mg を1日2回に分けて投与する。症状により1日 3,000mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は2週間以上の間隔をあけて1日用量として1,000mg 以下ずつ行うこと。

【禁】本剤の成分又はピロリドン誘導体に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、重篤な血液障害、肝不全、肝炎、膵炎

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

*ヒドロコルチゾン Hydrocortisone

【商】コートリル Cortril ファイザー
内用：錠剤 1錠中 10mg [7.8 円/錠]

【効】慢性副腎皮質機能不全(原発性、続発性、下垂体性、医原性)、急性副腎皮質機能不全(副腎クリーゼ)、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ACTH 単欠損症、関節リウマチ、若年性関節リウマチ(スチル症を含む)、リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)、エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)、全身性血管炎(大動脈炎症候群、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、ヴェゲナ肉芽腫症を含む)、多発性筋炎(皮膚筋炎)、強皮症、ネフローゼ及びネフローゼ症候群、気管支喘息、薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹、中毒疹を含む)、血清病、重症感染症(化学療法と併用する)、溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)、白血病(急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)、顆粒球減少症(本態性、続発性)、紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)、再生不良性貧血、限局性腸炎、潰瘍性大腸炎、重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期、スプルーを含む)、慢性肝炎(活動型、急性再燃型、胆汁うっ滞型)(一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続する難治性のものに限る)、肝硬変(活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの)、サルコイドーシス(両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く)、肺結核(粟粒結核、重症結核に限る)(抗結核剤と併用する)、結核性胸膜炎(抗結核剤と併用する)、結核性腹膜炎(抗結核剤と併用する)、結核性心嚢炎(抗結核剤と併用する)、脳脊髄炎(脳炎、脊髄炎を含む)(一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)、末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)、筋強直症、多発性硬化症(視束脊髄炎を含む)、小舞蹈病、顔面神経麻痺、脊髄蜘蛛膜炎、悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症)及び類似疾患(近縁疾患)、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移、特発性低血糖症、原因不明の発熱、副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒(重症の虫さされを含む)、卵管整形術後の癒着防止、湿疹・皮膚炎群(急性湿疹、

亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎等)(重症例以外は極力投与しないこと)、痒疹群(小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む)(重症例に限る)蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)、乾癬及び類症(尋常性乾癬(重症例)、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱疹、ライター症候群)、掌蹠膿疱症(重症例に限る)、成年性浮腫性硬化症、紅斑症(多形滲出性紅斑、結節性紅斑)(多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群(開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病(眼症状のない場合)、リップシュッツ急性陰門潰瘍)、円形脱毛症(悪性型に限る)、天疱瘡群(尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher 症候群、増殖性天疱瘡)、デューリング疱疹状皮膚炎(類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む)、紅皮症(ヘブラ紅色皰糠疹を含む)、顔面播種状粟粒狼瘡(重症例に限る)、アレルギー性血管炎及びその類症(急性痘瘡様苔癬状皰糠疹を含む)、内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法(ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺)、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合(眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎)、急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、アレルギー性鼻炎、花粉症(枯草熱)、進行性壊疽性鼻炎、食道の炎症(腐蝕性食道炎、直達鏡使用後)及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び舌炎(局所療法で治癒しないもの)

【用】1日10～120mgを1～4回に分割投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症の患者、消化性潰瘍の患者、精神病患者、結核性疾患の患者、単純疱疹性角膜炎の患者、後囊白内障の患者、緑内障の患者、高血

圧の患者、電解質異常のある患者、血栓症の患者、最近行った内臓の手術創のある患者、急性心筋梗塞を起こした患者

【副】誘発感染症、感染症の増悪、続発性副腎皮質機能不全、糖尿病、消化性潰瘍、骨粗鬆症、骨頭無菌性壊死、ミオパチー、緑内障、後囊白内障、血栓症

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【小】注意、長期投与注意

【商】ランサップ400 Lansap

武田

内用：錠剤・カプセル剤

1 シート中ランソプラゾールカプセル 30mg：2カプセル、アモキシシリン水和物カプセル 250mg：6カプセル、クラリスロマイシン錠 200mg：2錠
[709.1円/シート]

【効】下記におけるヘリコバクター・ピロリ感染症：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃

【用】ランソプラゾール 1回 30mg、アモキシシリン 1回 750mg 及びクラリスロマイシン 1回 200mg の3剤を同時に1日2回、7日間投与する。クラリスロマイシンは、1回 400mg、1日2回を上限とする。

【禁】タケプロン・アモリン及びクラリスの成分に対する過敏症の既往歴のある患者、アタザナビル硫酸塩・ピモジド・エルゴタミン含有製剤・タダラフィル(アドシルカ)を投与中の患者、伝染性単核症のある患者、高度の腎障害のある患者、ペニシリン系抗生物質に対する過敏症の既往歴のある患者

【副】〈タケプロン〉アナフィラキシー反応、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、顆粒球減少、血小板減少、貧血、黄疸、重篤な肝機能障害、TEN、Stevens-Johnson 症候群、間質性肺炎、間質性腎炎 〈アモリン〉ショック、アナフィラキシー様症状、Stevens-Johnson 症候群、TEN、急性汎発性発疹性膿疱症、急性腎不全、顆粒球減少、偽膜性大腸炎、肝機能障害、黄疸 〈クラリス〉ショック、アナフィラキシー様症状、QT 延長、心室頻拍(Torsades de pointes を含む)、心室細動、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全、血小板減少、汎血球減少、溶血性貧血、白血球減少、無顆粒球症、Stevens-Johnson 症候群、TEN、

PIE 症候群・間質性肺炎、偽膜性大腸炎、出血性大腸炎、横紋筋融解症、痙攣、アレルギー性紫斑病、急性腎不全

【妊】有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳回避

【小】未確立

＊ラニナミビルオクタン酸エステル水和物

Laninamivir Octanoate Hydrate

【商】イナビル Inavir 第一三共
外用：吸入剤（ドライパウダー）

1キット中 20mg [2,080.5 円/キット]

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症の治療

【用】〔成人〕40mg を単回吸入投与する。

〔小児〕10 歳未満：20mg を単回吸入投与する。

10 歳以上：40mg を単回吸入投与する。

【警】◆本剤の使用にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること。◆本剤の予防投与における有効性及び安全性は確立していない。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】アナフィラキシー様症状、気管支痙攣、呼吸困難、Stevens-Johnson 症候群、TEN、多形紅斑

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳】未確立

【商】デュオトラバ Duotrav アルコン
外用：点眼剤 1mL 中トラバプロスト 40μg、
チモロールマレイン酸塩 5mg (2.5mL)

[1,360 円/mL]

【効】緑内障、高眼圧症

【用】1 回 1 滴、1 日 1 回点眼する。

【禁】気管支喘息又はその既往歴のある患者、気管支痙攣・重篤な慢性閉塞性肺疾患のある患者、コントロール不十分な心不全・洞性徐脈・房室ブロック（Ⅱ、Ⅲ度）・心原性ショックのある患者、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】虹彩色素沈着、眼類天疱瘡、気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全、心ブロック、うっ血性心不全、脳虚血、心停止、脳血管障害、SLE

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、投与する場合は授乳中止

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

＊イオプロミド Iopromide

【商】イオプロミド「FRI」 Iopromide FRI

富士フイルム RI

注射：液剤 300（尿路・血管用）：

1 シリンジ（100mL）中ヨードとして 30g

[後 8,078 円/筒]

【効】①脳血管撮影 ②胸部血管撮影 ③腹部血管撮影 ④四肢血管撮影 ⑤ディジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影 ⑥ディジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影 ⑦コンピューター断層撮影における造影 ⑧静脈性尿路撮影

【用】1 回下記量を使用する。複数回投与する場合の総投与量は 260mL までとする。

①5～15mL ②5～50mL ③5～50mL

④10～50mL ⑤20～40mL ⑥3～30mL

⑦50～100mL ⑧50～100mL

【警】◆ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。◆本剤は尿路・血管用造影剤であり、脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髄造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者、重篤な甲状腺疾患のある患者、一般状態の極度に悪い患者[※]、気管支喘息の患者[※]、重篤な心障害のある患者[※]、重篤な肝障害のある患者[※]、重篤な腎障害のある患者[※]、急性膵炎の患者[※]、マクログロブリン血症の患者[※]、多発性骨髄腫の患者[※]、テタニーのある患者[※]、褐色細胞腫のある患者及びその疑いのある患者[※]

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、急性腎不全、肺水腫、痙攣発作、心室細動、血小板減少、肝機能障害、黄疸、意識障害、失神、精神神経系症状[★]、脳血管障害[★]、Stevens-Johnson 症候群[★]

【妊】禁忌 【授】授乳中止

【小】未確立、慎重

＊イオメプロール Iomeprol

【商】イオメロン Iomeron

エーザイ

注射：液剤 350（CT・尿路用）：1 シリンジ（135mL）中ヨードとして 47.25g [16,814 円/筒]

【効】①コンピュータ断層撮影における造影

②静脈性尿路撮影 ③心臓血管撮影 ④胸部血管撮影 ⑤腹部血管撮影 ⑥四肢血管撮影

⑦デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影

⑧デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影

【用】1 回下記量を使用する。複数回投与する場合の総投与量は 250mL までとする。

①40～100mL、肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影時：1.8mL/kg(最大 135mL)

②30～100mL ③心腔内撮影：20～50mL、冠動脈撮影：3～10mL ④5～50mL ⑤5～60mL

⑥10～80mL ⑦10～50mL ⑧3～40mL

【警】◆ショック等の重篤な副作用があらわれることがある。◆本剤を脳・脊髄腔内に投与すると重篤な副作用が発現するおそれがあるので、脳槽・脊髄造影には使用しないこと。

【禁】ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者、重篤な甲状腺疾患のある患者、一般状態の極度に悪い患者[※]、気管支喘息の患者[※]、重篤な心障害のある患者[※]、重篤な肝障害のある患者[※]、重篤な腎障害のある患者[※]、急性膵炎のある患者[※]、マクログロブリン血症の患者[※]、多発性骨髄腫のある患者[※]、テタニーのある患者[※]、褐色細胞腫のある患者及びその疑いのある患者[※]

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、肺水腫、成人呼吸窮迫症候群、心室細動、冠動脈攣縮、肝機能障害、黄疸、脳血管障害、痙攣発作、意識障害、失神、麻痺、腎不全、血小板減少、Stevens-Johnson 症候群

【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光

*エポエチンベータ Epoetin Beta

【商】エポジン Epogin 中外
注射：液剤^㉔ 1 シリンジ(0.5mL)中 24,000 国際単位 [25,777 円/筒]

【効】貯血量が 800mL 以上で 1 週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血

【用】ヘモグロビン濃度が 13g/dL 未満の患者には初回採血 1 週間前から、ヘモグロビン濃度が 13～14g/dL の患者には初回採血後より、1 回 24,000 国際単位を最終採血まで週 1 回皮下注する。初回採血は、予定貯血量が 800mL の場合は手術 2 週間前、1,200mL の場合は手術 3 週間前を目安とする。

【禁】本剤又は他のエリスロポエチン製剤・ダルベポエチンアルファ製剤に過敏症の患者

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、高血圧性脳症、脳出血、心筋梗塞、肺梗塞、脳梗塞、肝機能障害、黄疸、赤芽球瘍

【妊】未確立、原則禁忌、投与する場合は有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光、10℃以下

*ダルベポエチンアルファ Darbepoetin Alfa

【商】ネスプ Nespo 協和発酵キリン
注射：液剤^㉔ 1 シリンジ(0.6mL)中 120μg [24,865 円/筒]

【効】腎性貧血

【用】○血液透析患者：〈初回用量〉週 1 回 20μg を静注する。〈エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量〉週 1 回 15～60μg を静注する。〈維持用量〉貧血改善効果が得られたら、週 1 回 15～60μg を静注する。週 1 回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として、2 週に 1 回投与に変更し、2 週に 1 回 30～120μg を静注することができる。最高投与量は、1 回 180μg とする。○腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者：〈初回用量〉2 週に 1 回 30μg を皮下又は静注する。〈エリスロポエチン製剤からの切替え初回用量〉2 週に 1 回 30～120μg を皮下又は静注する。〈維持用量〉貧血改善効果が得られたら、2 週に 1 回 30～120μg を皮下又は静注する。2 週に 1 回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での 1 回の投与量の 2 倍量を開始用量として、4 週に 1 回投与に変更し、4 週に 1 回 60～180μg を皮下又は静注することができる。最高投与量は、1 回 180μg とする。

【禁】本剤の成分又はエリスロポエチン製剤に過敏症の患者

【副】脳梗塞、脳出血、肝機能障害、黄疸、高血圧性脳症、ショック、アナフィラキシー様症状、赤芽球瘍、心筋梗塞、肺梗塞

【妊】未確立、原則禁忌、投与する場合は有益のみ 【授】未確立、原則禁忌、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

【貯】遮光、2～8℃

【商】サリンヘス Salinhes

フレゼニウス・カービ

注射：液剤 1 袋(500mL) 中ヒドロキシエチルデ
ンブ 70000 30g、塩化ナトリウム 4.5g

[後 880 円/袋]

【効】①各科領域における出血多量の場合

②体外循環における血液希釈液

【用】①成人は 1 回 100～1,000mL を静注する。

小児は 10mL/kg 以内を用いる。

②10～20mL/kg を用いる。

【警】組織残留性が認められるので、投与は緊急時に短期間にとどめること。

【禁】うっ血性心不全のある患者、乏尿等を伴う腎障害又は脱水状態のある患者、線維素原減少症又は血小板減少症等の出血傾向のある患者、発疹等過敏症の既往のある患者*

【副】ショック、アナフィラキシー様症状

*シデフェロン Cideferron

【商】フェリコン Ferricon 日本臓器

注射：液剤 1 管(2mL) 中鉄として 50mg

[166 円/管]

【効】下記の場合の鉄欠乏性貧血(急・慢性出血による貧血、本態性低色素性貧血等)：1)鉄剤の経口投与が無効の場合又は経口投与によってヘモグロビン値が満足すべきほど上昇しない場合 2)鉄剤の経口投与が禁忌の場合あるいは不耐容性の場合(例えば消化器潰瘍のある場合、消化不良症状がある場合等) 3)大量あるいは頻回の失血により鉄欠損があって鉄の急速な補給を必要とする場合

【用】1 日 50～100mg をそのまま、又は、5～20%ブドウ糖液又は 5～20%果糖液 10～20mL に用時希釈し、2～3 分間かけて徐々に静注する。点滴静注を行う場合は、5%ブドウ糖液、5%果糖液又はラクトリンゲル液 200～300mL に用時混合し、約 1 時間かけて点滴静注する。投与総量は患者の体重及びヘモグロビン値に基づき算出する。投与総量(mg) = $[2.7(15 - \text{治療前患者ヘモグロビン量 g/dL}) + 17] \times (\text{体重 kg})$ 、又は、投与総量(mg) = $[0.4(100 - \text{治療前患者ヘモグロビン値 \% Sahli}) + 17] \times (\text{体重 kg})$

【禁】重篤な肝障害を有する患者、鉄欠乏状態にない患者、鉄注射剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】ショック

【小】未確立

*テリパラチド Teriparatide

【商】フォルテオ イーライリリー

注射：液剤 1 本(2.4mL) 中 600µg

[51,871 円/キット]

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用】1 日 1 回 20µg を皮下注射する。本剤の投与は 18 ヶ月間までとすること。

【禁】高カルシウム血症の患者、次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者〔原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者、骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症及び骨ページェット病等)、原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者、小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者、過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者〕、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【妊・授】禁忌

【小】禁忌

【貯】遮光、2～8℃

*ペラミビル水和物 Peramivir Hydrate

【商】ラピアクタ Rapiacta 塩野義

注射：液剤 1 瓶(15mL) 中 150mg [3,032 円/瓶]

【効】A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症

【用】〔成人〕300mg を 15 分以上かけて単回点滴静注する。合併症等により重症化するおそれのある患者には、1 日 1 回 600mg を 15 分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。〔小児〕1 日 1 回 10mg/kg を 15 分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。投与量の上限は、1 回量として 600mg までとする。

【警】◆本剤の投与にあたっては、本剤の必要性を慎重に検討すること。◆本剤の予防投与における有効性及び安全性は確立していない。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】白血球減少、好中球減少、ショック、アナフィラキシー様症状、肺炎、劇症肝炎、肝機

能障害★、黄疸★、Stevens-Johnson 症候群★、TEN★、急性腎不全★、血小板減少★、精神・神経症状★、出血性大腸炎★

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳回避

【低・新】未確立

【製剤変更医薬品】

＊モメタゾンフランカルボン酸エステル

Mometasone Furoate

【商】アズマネックス Asmanex MSD

外用：吸入剤（ドライパウダー）

1 瓶中 60 回分（1 回 200 μ g）[3,291.8 円/キット]

【効】気管支喘息

【用】1 回 100 μ g を 1 日 2 回吸入投与する。1 日の最大投与量は 800 μ g を限度とする。

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者、結核性疾患の患者[#]

【副】アナフィラキシー様症状

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則授乳回避

【小】未確立

＊生理食塩液 Isotonic Sodium Chloride Solution

【商】生食注シリンジ「オーツカ」 大塚製薬

注射：液剤 1 筒（10mL）中塩化ナトリウム 0.09g

[[㊞]127 円/筒]

【効】①細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時 ②注射剤の溶解希釈剤

【用】①20～1,000mL を皮下・静注又は点滴静注する。②適量を取り注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。